



発行所

北東白石まちづくり協議会
地域情報広報委員会
札幌市白石区北郷3条12丁目4-1
北都地区会館
TEL 011-875-3077
FAX 011-875-7969

北の郷里が満10年60号を迎えました

北東白石地区の歩み探訪(町内会・協議会)

北の郷里が満10年60号を迎えました。私たちが住んでいる北東白石地区がどのような歴史をたどり、発展してきたのか、この機会に探ってみようと思います。

◆北都町内会

北都町内会の設立は昭和40年12月5日60名が参加して総会を開催、初代会長には岡部秀雄を選出し発足(60世帯200名規模町内会)。

それまでは、東白石連合町内会に属する大谷地町内会の一部でありました。

この地帯は当時北都団地として昭和39年4月に土地区画整理事業が始まり昭和40年前期には200区画が売却され同年暮れには70戸の新築住宅が建築され、急速に発展しました。

それ以降の主な公共物などの開設を見ると、昭和51年拓銀北都出張所が開設、昭和52年札幌白石高校開校、昭和54年札幌市立北都中学校開校、昭和55年白石警察署北都派出所、昭和56川北小学校開校、昭和56年拓銀北都出張所が東川下に移転(この跡には昭和57年札幌信用金庫北都支店が入り現在に至る)、昭和57年3月に東川下小学校が開校、同月地下鉄が新さっぽろまで延長。

昭和58年北都簡易郵便局が廃止され北郷2条郵便局が開業、住宅も多くなり発展が著しかった。

北都町内会は平成27年50周年を迎えます。

◆川北町内会

川北町内会の設立は、昭和42年6月となっております。それまでは川下町内会(当時厚別町)の一部であったが39年頃より始まった宅地造成により住宅が建ちはじめ昭和42年4月をもって川下から分離、川北町内会として白石連町に所属することとなった。昭和49年北白石連絡所が開設北白石連合町内会も設立された。川北会館も昭和47年に最初の会館が出来、平成10年に現在の会館が新築された。

川北町内会は平成29年50周年を迎えます。

◆東川下町内会

東川下町内会も以前は水田であった所を宅地として区画整理をし住宅化の故に作られた。

昭和47年東川下土地区画整理組合が設立、川下市街化区域の街づくりが始まる。区画整理は昭和56年に完成する。この間、当時の川下町内会より昭和53年3月26日分離独立して東川下町内会が設立(113戸)されました。

昭和55年東川下記念会館が区画整理組合によって建築され、平成22年11月1日東川下町内会に全て寄贈となった。これにより東川下町内会は札幌市の地縁団体として法人格を持つこととなり、日本一の町内会館を持つ町内会と言っても良いでしょう。平成29年度で40周年となります。

◆東川下団地自治会(N団地)

◆川下団地自治会(S団地)

東川下の区画整理と共に市営住宅の誘致が進み、昭和52年にN団地4棟が先に建設され、55年にはS団地が完成を見た。自治会は53年、56年。

◆川下町内会

川下町内会は北東白石地区では一番歴史が古く白石村の時代、明治16年の入植に始まる。大正4年に川下青年会を設立。現代の町内会としての記録では昭和21年からの記載があります。

◆北東白石連合町内会の発足

昭和61年10月1日北白石連合町内会から分離し北都・川北・東川下・東川下団地自治会・川下団地自治会・川下の6単位町内会で北東白石連合町内会を結成、東川下記念会館に連絡所を設置、北東白石連絡所も同時に設置されました。

又、11月1日に千歳線平和駅が開業した年でもありました。平成5年北都地区会館が落成3月18日より北東白石連絡所移設開始(その後まちづくりセンターと名称変更)、併せて連町業務も移動となりました。連町も平成28年満30年となります。

北の郷里(きたのこうり) 名前の由来 郷とは昔、郡内の一区画で数村をあわせたもの。郷里(こうり)とはその最小単位をあらわしていて、小さな「むらざと」を意味します。郷里(こうり)は近代においては郷里(きょうり、ふるさと)と呼ばれています。白石区には郷が三つあります。南郷、本郷と北郷です。ここから「郷」を一宇いただきました。北は白石区の北東、北海道の北の文字、日本の北を示し、郷里は我が大地、むらざと、ふるさとを示します。地紋は郷土の稲穂です。

「北の郷里」は北郷を連想させる名でもありますが、「日本の北のふるさと」との大きな意味を持たせながら、地域にあっては「ぬくもりと優しさに満ちたまちづくり」を目指します。

北の郷里10年のあゆみ

北東白石まちづくり協議会の誕生まで

平成16年11月に北東白石地区を明るくするまちづくり委員会が立ち上がり、まちづくりのための住民組織が立ち上がりました。

翌平成17年5月14日新しく名称も「北東白石まちづくり委員会」として発足致しました。

地域の課題を各種団体などが連携をしながら自ら解決していくことを目指したネットワーク組織です。

平成16年度は委員会発足最初の事業として3月14日「ご町内からまちを変えよう」と題しての講演会を開催。NHKテレビの人気番組「難問解決！ご近所の底力」の小堺正記制作担当デスクを招いての講演で広く白石の区民にも公開された。また、3月18日、19日の二日間にわたって、「明るい高齢化社会を描いてみよう」とのテーマで地域住民と札幌市の職員も自由参加でのワークショップを開催致しました。

平成17年度は地域情報広報委員会、世代間交流委員会、地域安全委員会（仮称）の三つの特別委員会が活動を始めます。

こうして北の郷里は生まれた。

地域情報広報委員会ではこの広報紙（北の郷里）の発行により、タイムリーな地域の出来事、イベント情報ほか、お役立ち情報など、様々な地域の情報を皆様に提供し、住民同士の交流を進めます。

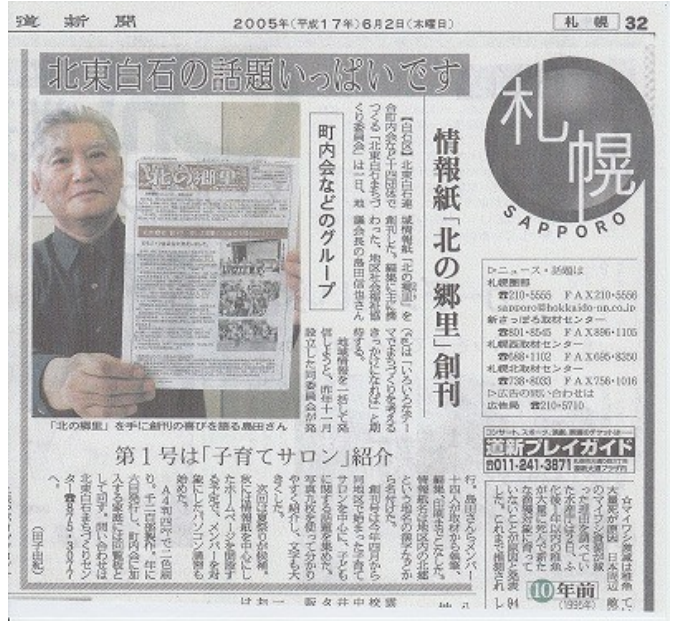
世代間交流委員会では8月7日の七夕に向けて、「七夕の集い」を企画しております。地域安全委員会（仮称）では地域の防犯、防災など安全で安心できる地域を目指します。

この様な三つの委員会が生まれ、広報紙創刊号は平成7年（2005）年6月1日でした。



- | | |
|------------|-------------|
| 伊藤友太郎（連町） | 宮下宏光（実践会） |
| 武者 功（民協） | 嶋田美津江（連町） |
| 桜庭皓一（民協） | 石岡敏子（日赤） |
| ◎島田信也（社協） | 相笠知子（日赤） |
| ○芦田れい子（育成） | 高橋文夫（長楽会） |
| 大島悦子（育成） | 菅野祥子（子ども会） |
| 小澤光之（体振） | 明日見浩子（子ども会） |

創刊号の広報委員、写真とメンバーです。



北海道新聞に創刊号の記事が掲載されました。

A3二つ折り、A4判4ページで2色刷り年6回発行は現在まで変わらず、最初の発行部数は、1,200部で町内会回覧部数でした。

当時はまだ折り機も無く2つ折りは1枚ずつ広報委員の手作業で折っておりまして。

平成18年に地域活性化委員が4つ目の委員会として新設。これを機に、北東白石まちづくり委員会の名称が委員会の中にまた委員会があるとの事で「北東白石まちづくり協議会」と再度現在の名へと名称変更がなされました。

北東白石のPRリーフレット作成

平成18年12月、写真右のようなA3裏表をA4三つ折りにした北東白石地区案内マップや地区概要、各町内会の紹介を載せている。



北の郷里も委員会に折り機が導入されたのが平成19年度で、この時から町内会の全戸配布とし、印刷枚数も6,400部へと増えた。折る手間は少なくなったが、黒で裏表、色を変えてと計4回印刷機を通し、朝9時から全員で一日作業となっている。

【北東白石まちづくり協議会の構成団体】

- 北東白石まちづくり協議会の構成団体＝ ◆北東白石連合町内会 ◆北東白石地区民生委員・児童委員協議会 ◆北東白石地区社会福祉協議会（北東白石地区福祉のまち推進センター） ◆北東白石地区青少年育成委員会 ◆北東白石地区体育振興会 ◆北東白石地区交通安全実践会 ◆北東白石地区交通安全母の会 ◆日赤奉仕団北東白石分団 ◆北東白石地区こども会連絡協議会（北都なかよし子ども会、東川下子ども会、川北こども会） ◆北都明生会 ◆東川下老人クラブ ◆川北老人クラブ長楽会 ◆川下老人クラブ ◆北都商店街振興組合

地域の10年での移り変わり

安心・安全なまちづくりのために

阪神・淡路大震災（1995.1.17）から20年、東日本大震災（2011.3.11）から4年が過ぎた。

阪神・淡路の時は復興のスピードも速かったように思う。東日本大震災は地震・津波のみならず福島第1の原発事故の発生もあり避難が長期化している。

この大震災から私たちは災害に対する備え等多くの事を学び、町内会でも、連町でも防災訓練やDIG（災害図上訓練）、HAG（避難所開設訓練）などいろいろと取り組んでまいりました。

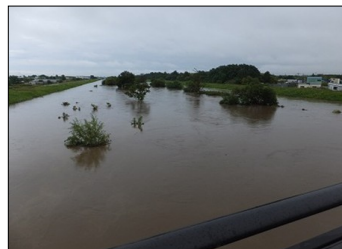
北東白石地区に初の避難勧告

氾濫危険水位を超えていた厚別川

平成26年9月11日未明より降り続いた大雨

は、8月に広島市で起きた土砂災害と同じ、バックビルディング現象と言う積乱雲が連続して発生、風に流されて1列に並ぶように集中豪雨が降り注ぐ現象で、支笏湖周辺や札幌の川の源流付近で集中豪雨が急激な川の水位の上昇をもたらした。

川下橋の水位計も氾濫危険水位を超える増水だった。幸い氾濫することもなかったが、あ



写真上から、川下橋、山本栄橋よりの厚別川

氾濫の危険十分。東川下町内会では、堤防のかさ上げの要望を決議している。

地震・洪水・津波ハザードマップ

札幌市は平成21年6月洪水ハザードマップを発表している。北の郷里でも39号で取り上げている。月寒川と厚別川に挟まれた地区だけに注意が必要。

北東白石地区社協では平成23年9月7日の「さわやか社協」でこの地区の津波・洪水ハザードマップを発表している。



千歳線平和駅（有人）と人道橋完成

北の郷里10号（H18.12.01）に掲載。

300mに渡る全天候型の人道橋。現在は南北と駅舎にと3か所にエレベーターが付いている。

自転車置き場も整備され、格段に便利になりました。一方で自転車の盗難も増えました。

雪あかりのまち・アイスキャンドル

平和駅前から北13条通の駅前通が暗い、通勤帰りには不安だ、などいろいろな声の中、地域活性化委員会では、日本ハムファイターズの幟を立てたり、道路の両サイドをアイスキャンドルで飾り少しでも人が多くにぎわいのある通りにと、今年の2月で第8回目となり、飲み物の無料サービスもあり、年々人出も増えております。

中央バス路線廃止問題

平成20年12月20日を持って白石・厚別の北海道中央バス9路線480便の廃止との突然の新聞報道で、6月15日中央バスより説明会があったが会場は満員、その後札幌市はJRバスに切り替える案を提示したが難航。二転三転、結局中央バスで再継続に落ち着いたが、市の対応に批判続出、この問題では20号、21号と2回にわたって北の郷里でも経緯を報道した。

札幌市家庭ごみの有料化と分別化

平成21年7月より家庭ごみ有料化に伴う分別・排出について、3月24日連合町内会町内会婦人部主催で有料化での取り扱い、分別の方法などの勉強会を開催。北の郷里でも24号、25号、26号と3回にわたって掲載しています。

ゴミに関してはゴミステーションでの取り扱い、ごみ出しのルール違反でカラスが散らかしたりと問題が多い。網を工夫したりと、いろいろしているが、やはり利用される皆さんのマナーを守る心がけでしか解決できぬ問題です。ご協力を。

荣誉に輝いた人たち

この10年この地区からも多くの方が荣誉に輝いております。瑞宝双光章を受賞した佐々木茂さん。宮中「歌会始」で「前照灯の光のなかに雪の降り始発列車は我が合図待つ」との詠進歌が披露された西出欣司さん。北海道社会貢献賞を受賞の鷹架光一さん、嶋田美津江さん。警察協力功労者表彰鷹架光一さん。札幌市自治振興功労者表彰の古屋博二さん、嶋田美津江さん、関絃一さん。

毎年連町総会時には高田寛さんはじめ多くの方が区長表彰を受けております。

また、団体では、連町が防災表彰を、川下町内会が市長表彰、地区社協では広報紙が3年連続優秀賞やこの度の市長表彰があります。

・・・ ちょっといい話 ・・・

北東白石地区社会福祉協議会が札幌市長より「ぬくもり・ふれあい表彰」を受賞。

第7回札幌市ぬくもり・すこやか表彰で北東白石地区社会福祉協議会が受賞、さる3月16日市長応接室において表彰式が行われました。

札幌市の保健福祉分野における市民活動において、先進的、他の規範となるような実績のある団体及び個人との事で今回は3団体1個人が表彰されました。(写真中央井上副市長と受賞者、左から二人目が島田地区社協会長)



・・・ 女子会にぎわう・・・

東川下町内会婦人部、最近では女性部と言うところが多くなったが、ご婦人が多いせいか、伝統を重んじるのか？女性部にと簡単に流れてしまわないこだわりを持っている。

東川下記念会館が町内会館となり町内会でも大いに会館を利用するべく知恵を絞っている。

その中で婦人部では、平成26年5月より、月に1回第3木曜日、通称1階の炊事場の隣の和室(12畳位)を1日の使用料を婦人部負担で茶の間に開放し、皆さんに利用を呼び掛けた。

朝から晩まで(9:00~17:00)出入り自由、各自好きな事をするのもよし、どうぞ自由にとのスタイルで始まった。

最初は3人位~多くて5人位が利用し、編み物をする人がおり、「それ教えて」とマフラーを編んだり、牛乳パックを24個集めて椅子を作ったりと会を重ねるごとに人が集まってきた。3月19日には大阪風おこのみ焼きを堪能。次回4月第3木曜(4/16)には関西風ギョーザを作る予定だそうで、9:30~16:30頃まで和室は満員状態で、笑い声も絶えぬ。

こちらは北都町内会女性部・・・手芸講習会
3月10日10:00~手芸講習会を開催したところ45名もの参加があった。羊のストラップ作りで材料費と食事も付いて300円の参加費う~ん!この値段で食事つきが効いたのかな~

講習が終わって各自作品をぶら下げて、嬉しそうに会場から出てきた姿、良かったよ。

もう一つ、社協でのサロン。こちらは男も歓迎ですが現在女性のみ。少し高齢かな、でも静かに燃えています。あ~写真のスペース無くなった。

行事予定案内

行事	開催日	時間	場所
川下町内会 定期総会	4月 5日(木)	13:00~	川下会館
交通安全早期街頭啓発	4月 6日(月)	8:00~	札幌信金前
小学校入学式	4月 6日(月)	11:00~	北都小学校
		11:00~	東川下小学校
		13:00~	川北小学校
中学校入学式	4月 7日(火)	9:30~	北都中学校
春の清掃運動 4月12日(日)~5月17日(日)			
北都町内会 定期総会	4月 19日(日)	13:00~	北都地区会館
東川下町内会 定期総会	4月 19日(日)	13:30~	東川下記念会館
川北町内会 定期総会	4月 19日(日)	13:00~	川北会館
東川下団地自治会 定期総会	4月 19日(日)	13:00~	東川下団地集会所
川下団地自治会 定期総会	4月 19日(日)	19:00~	川下団地集會室
北東白石連合町内会 定期総会	4月 26日(日)	16:00~	北都地区会館
交通安全実践会総会	4月 29日(水)	18:00~	北都地区会館
北都地区会館運営委員会総会	4月 30日(木)	19:00~	北都地区会館
交通安全早期街頭啓発	5月 11日(月)	8:00~	市民生協前
北東白石まちづくり協議会総会	5月 11日(月)	19:00~	北都地区会館
北東白石地区社会福祉協議会総会	5月 15日(金)	18:30~	北都地区会館
北東白石地区合同防犯パトロール	5月 17日(日)	9:30~	北都地区会館
日赤北東白石分団総会	5月 22日(金)	10:00~	北都地区会館

H27年度小中学校の先生が変わりました

中学校	新任	北都中学校校長	富川 浩	米里中教頭
	新任	北都小学校教頭	福田栄喜	東山小教諭
	新任	川北小学校教頭	大宮健一	川北小主幹教諭
	新任	東川下小学校教頭	大嶋稔康	川北小教諭
小学校	転任	厚別中学校校長	山岸 徹	北都中校長
	転任	白石小学校教頭	湊義行	東川下小教頭
	転任	信濃小学校教頭	山本格史	川北小教頭

----- 編集後記 -----

◆北の郷里が創刊されて10年、地域も少しづつ変わってきている。住んでいる人々が確実に高齢化して来て、年齢構成も少しづつ変化をしている。住民の考え方、特に若い方の考えにも変化がみられる。日常、生活していると、そのような変化に気づくこともあるが、それによって、自分がどう変わり、地域もどう変わるかなど、何かの機会が無くては捉えることもないのが常ではなかろうか。今号で少し振り返ってみた。皆様も日常の会話の中で思い出して下さいれば幸いです。

◆26年度の広報委員は16名ですが、創刊から携わってきた方が5人おります。私もその一人ですが、よくまあ、10年続けて来られたものと皆さんに支えられながら、自分も年を重ねてきたのかとお礼と感謝の気持ちでいっぱいです。◆毎月の編集会議では、いろんな話が出ます。時には脱線しながらも皆さん生き生きと意見も言い合い、他の会議や委員会などと比べて一番好きだ。これからも続けたいと思うが、10年後再びこの様な編集後記が書ける保証が無いのが残念だ。10年間の感謝をこめて。 委員長 島田信也